

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、古文や漢文など伝統的な言語文化に関する領域が全国平均を上回る正答率でした。社会科と連携させて当時の生活と関連付けて学んだ成果と思われます。

数学では関心・意欲に関する回答が全国と比べて著しく上回っていました。これは、日々の授業で積極的に取り組む姿から容易に想像できます。また図形の錯角と2直線の位置関係を問う設問や中央値を求める設問で、全国平均を大きく上回る正答率でした。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」と回答した生徒は71%と、全国平均を上回っていました。これは、家庭学習の手引きを作成するとともに、家庭学習の目的や意図を生徒へ説明したり、連絡カードなどで家庭と丁寧に連携を図ったりする取組が反映されたものと思われます。

課題と対応

国語では、読む能力を問う問題において正答率が低く、「解答時間が足りなかった」と回答した生徒の割合が47.4%と全国平均よりかなり高く、読解力に課題があることが明らかになりました。本年度は朝日中高生新聞の実践指定を受け、全員が家庭で週間のデジタル新聞を購読できるようにしています。そして新聞の切り抜きコメントを継続的に書いたり、本の書評大会を行ったりして文章を読む機会を増やしています。この取組に一層力を入れていきたいと思っています。

数学では、選択式と記述式の問題において、正答率が全国平均より低い結果となりました。個々の設問を見てみると、公式や決まりを学習する時にその訳を理解できていないことが原因の一つだと考えます。授業の中で、途中の考え方を書き込んでいくことや、なぜそうなるのか説明を記述する機会を設けていますが、より丁寧に指導していきたいと思っています。また日々の授業の中で、これまでの学習内容を活用できるように授業を計画するとともに、朝学習や家庭学習を利用し、学習内容の定着を図っていききたいと思います。

質問紙調査の結果からは、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対し、「あてはまらない」と回答した生徒が29%おり、全国平均と比較しても否定的な回答をした割合が高いことが分かりました。そこで、日々の肯定的な評価や声掛けに加え、良い行動が見られた際にはポジティブ行動支援の取組である「スマイルカード」を渡して評価するなど、自己肯定感の向上につながるような取組をさらに増やしていきます。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果から、家庭学習をしている割合が全国よりも高く、家庭での学習習慣が身に付いてきていることが分かります。また、テレビやビデオ・DVD等の視聴や、テレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォンも含む）等をする時間も全国より短く、メディアとよい距離感をもち生活できています。しかし、新聞や本などの文字を読む時間が少ない生徒も見られます。ご家庭でも身近に本や新聞を置いていただいたり、家族で本を読んだりして文字に触れる環境を整えていただければ、生徒の読解力および思考力の成長が図れ、自立につながると思います。また、将来の展望をもって日々を過ごせるように、前向きな声掛けや見守りなど一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

教科・質問紙		成果
第1学年	国語	情報の扱い方に関する事項の理解と読むことが良くできる。
	社会	「我が国の国土」「我が国の産業」の領域について、他の領域よりも理解している。
	数学	情報（データの活用など）の扱い方に関する事項を理解し、主体的に考える態度が身に付いている。
	理科	「物質・エネルギー」領域はかなり身に付いている。
	英語	「聞くこと」における知識・技能、思考・判断・表現ともにできている。
	学習状況	話し合いの中で、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めることができている。
第2学年	国語	読むことと書くことの能力が市の平均よりかなり高い。
	社会	地理的分野の資料活用の技能が優れている。
	数学	全体的に市の平均程度であり、中でも「数学的な技能」が身に付いている。
	理科	記述形式の問題を回答する力が付いておいる。
	英語	読むことと書くことの能力が高い。
	学習状況	家庭学習や読書に取り組む割合が高い。

課題とその対応

教科・質問紙		課題	対応
第1学年	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項の理解と全般的に知識や技能の定着に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに行った問題で間違えたところをリストアップして主体的に学習する習慣を身に付けさせる。 ・学習のまとめを記述式で行うことで、学習内容を整理し、理解を深めることにつなげる。 ・小学校の既習事項をふり返り、問題演習で「数と計算」「関数」「図形」において基礎の定着を図っていく。 ・授業中に自分の考えを記述・発表によって表現する時間を多くとることで、記述形式の解答の力が定着するように働きかける。 ・自分の考えを英語で話したり書いたりする練習を繰り返すことで、表現の力の定着を図る。 ・メディア利用の仕方や内容を定期的に確認し、正しくメディアコントロールができる力を身に付けていく。
	社会	「我が国の政治」「我が国の歴史」の領域と、記述式の問題に課題が見える。	
	数学	特に「数と計算」「図形」の領域で、知識・技能の定着に課題がある。	
	理科	市の平均と比較すると、記述の解答形式の正答率に課題がある。	
	英語	思考・判断・表現の力に少し課題がある。	
	学習状況	メディア利用時間が長い。	
第2学年	国語	文法の理解に課題があり、話すことと聞くこと的能力に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・文法の問題を繰り返し解くことで自分の弱点を明確にし、主体的に学習できるようにする。 ・学習のまとめを記述式で行うことで、学習内容を整理し、理解を深めることにつなげる。 ・文章問題をよく読んで、立式できるようにするため練習問題を行い、定着につなげる。 ・授業中の観察・実験等の実施に体験する時間を十分にとり、单元テストなどで問う事で理解を深めることにつなげる。 ・英語を聞く機会や聞き取り問題に取り組む機会を増やすことで、英語の音に耳を慣らし聞く力を伸ばす。 ・メディアの利用について生徒に定期的に確認するとともに、学年懇談などを活用し家庭と連携しメディアとの上手な付き合い方ができるようにする。
	社会	歴史的分野の知識・理解と記述式の解答形式に課題がある。	
	数学	記述での解答に課題がある。	
	理科	観察・実験の技能に課題がある。	
	英語	「聞くこと」の領域に少し課題がある。	
	学習状況	メディアの利用時間が長い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

朝食を食べたり、規則正しい生活習慣を送ったりしている割合や、家庭で本を読んだり、主体的に学習したりしている割合がともに高いです。また家庭で学校の出来事を家の人と話す割合が高く、家庭で学校を支援していただいている様子がうかがえます。引き続きご協力のほどお願いいたします。一方、ゲームやインターネットをする時間が長いため、メディア利用の時間や内容を把握し、気を付けていただけるとありがたいです。